

# 国立映画アーカイブの所蔵資料がオンラインに！ 第1弾は歴史的な撮影機や映写機 181 点を公開

「映画遺産-国立映画アーカイブ映画資料ポータル」開設のお知らせ



左：ウェブサイトのトップ画面  
右：アリフレックス 16 ST

平素よりお世話になっております。このたび国立映画アーカイブは新しいウェブサイト「映画遺産-国立映画アーカイブ映画資料ポータル」を国立アトリサーチセンター協力のもと、国立情報学研究所と共同で開設・公開する運びとなりました。本サイトでは、当館が所蔵する様々な映画関連資料を公開いたします。

国立映画アーカイブが収集と保存に努めているのはフィルムだけではなく。スチル写真、ポスター、脚本、プレス資料、映画関連の書籍・雑誌、映画の機材類など、多種多様な資料のコレクションを構築してきました。この度のサイト開設に際しては、まず映写機や撮影機といった歴史的かつ貴重な映画機材 181 点の画像と情報を公開いたします。その後も、様々な種類の資料を順次アップロードしてゆく予定です。

## 【サイトの特徴】

### ★特定のテーマに限られない、包括的な映画資料のポータルサイト

これまで当館が制作したウェブサイトやページには、映像配信サイトの他に「NFAJ デジタル展示室」や「日本アニメーション映画クラシックス」内の「大藤信郎記念館」といった映画関連資料を紹介するものもありましたが、今回開設されるサイトは国立映画アーカイブが所蔵する映画関連資料を包括的に公開するための場所です。

第1弾の公開は歴史的な撮影機や映写機などの映画機材ですが、今後は映画館プログラムなど、他の所蔵資料もデジタル化のうえ公開してゆきます。

### ★国内で初めて映画機材の大規模なコレクションを詳細にインターネット公開

第1弾は映画機材 181 点を様々な角度から撮影した高精細な画像と、映画技術史専門家の綿密な調査に基づく詳細なテクニカルデータを掲載いたします。機材の製造時期は 1900 年代から 1980 年代まで幅広く、映画機材をこれほどの規模で詳細にインターネット公開するのは国内初の試みです。

本サイトで国立映画アーカイブが所蔵する資料をご覧になり、映画の歴史について深く学ぶことができるように、今後も改良を加えながらこのサイトを育ててゆきます。ぜひとも本サイトの紹介をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

サイト名	映画遺産-国立映画アーカイブ映画資料ポータル
URL	<a href="https://nfajilmheritage.jp/">https://nfajilmheritage.jp/</a>
制作	国立映画アーカイブ、国立情報学研究所
協力	国立アトリサーチセンター
公開日	2023年5月10日(水)16時

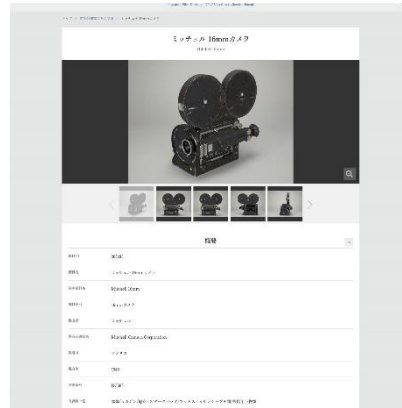
【本件に関するお問い合わせ】「映画遺産-国立映画アーカイブ映画資料ポータル」広報担当  
電話：03-3561-0823/FAX：03-3561-0830/E-mail：jfh@nfaj.go.jp

## 第 1 弾公開資料の映画機材について

### 撮影機・映写機

当館が所蔵する映画機材は多岐にわたりますが、今回はその中から歴史的な撮影機と映写機 181 点を公開いたします。あらゆる物や人の動きを静止画に還元する撮影機、そしてそうした膨大な数の静止画を再び動く画として映し出す映写機——20 世紀テクノロジーの一つの到達点とも言えるこれら歴史的マシーナリーの数々をぜひご覧ください。

### 閲覧方法と第 1 弾公開資料の一部



左：資料検索のページ。**通常検索と連想検索**の二つ方法があります。後者は、入力した単語や文章以外の関連した資料も検索結果に出すことができます。

右：資料詳細のページ。**様々な角度から撮影した高精細な画像**に加え、**映画技術史専門家の調査に基づく詳細なテクニカルデータ**が掲載されています。



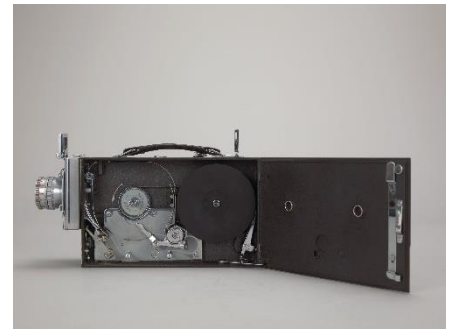
アリフレックス 16 ST

1952 年に西ドイツのアーノルド・リッター社が発売した撮影機。『フェイブルマンズ』（2022 年、スティーヴン・スピルバーグ監督）にも登場した。



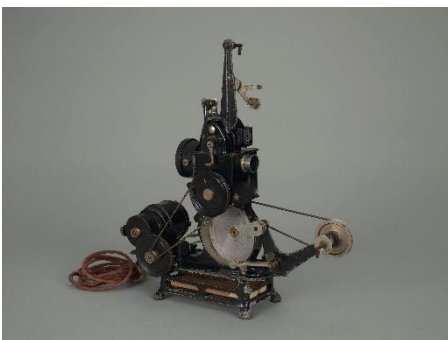
アンテルヴュー カメラ

フランスのデプリー社が 1918 年に発売した手回し式の撮影機。旧蔵者が木製のボディに塗装を施している。



シネコダック・スペシャル

アメリカのイーストマン・コダック社が 1948 年に発売した二眼式の 16mm フィルム撮影機。日本ではその形状から「弁当箱」という愛称で親しまれた。



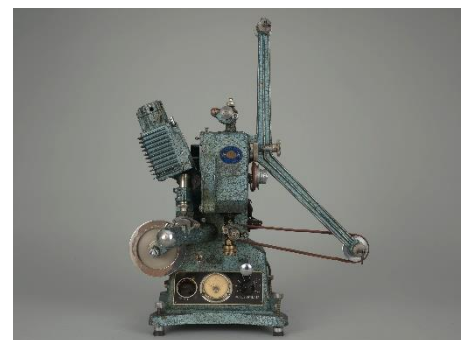
スーパー・パテ・ベビー映写機

フランスのパテ社が製造した家庭用の小型映写機。1924 年に発売されたこの型には、電動モーターとフィルムを 100m までかけられる長尺リールが備わっている。



エルモ 躍進号

1935 年に発売された初期の国産 16mm フィルム映写機。製造会社エルモが社として躍進することを願って、その名をつけた。



国際トーキー 17.5mm 映写機 A 型

フランスのパテ社が 1933 年に特許を取得した後、日本に子会社を設立して製造した映写機。17.5mm フィルムという短命規格の機材が現存しているのは珍しい。